

【担当者名】 近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp 榊原健一 天明屋優佳

【概要】

音楽を療法的に用いるために必要な正しい呼吸法や発声法を理解し、「歌う」ことの基本的知識と合唱の演奏技能を習得する科目である。

【学修目標】

合唱行為のもつ身体的側面や社会的側面を理解し、表現活動としての合唱の演奏技能を身につける。

1. 健康な音声を維持するための正しい姿勢、呼吸法、発声法を理解し実施できる。
2. 音楽表現を豊かにするハーモニーの役割を理解し、創造することができる。
3. 他者と協働した表現活動としての合唱を実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	授業の概要、進め方、評価方法の説明	近藤里美
2 3	発声のメカニズムと制御	・発声の生理と物理の基礎 ・声の高さと大きさの調節 ・声質制御の理論と発声の実践 ・声区（レジスター） ・ボイスレンジプロフィール	榊原健一
4 5	基礎音声学	・母音、子音の音声学的基礎 ・日本語音声学	榊原健一
6 7	声の衛生とウォーミングアップ、歌唱における特殊発声	・ウォーミングアップと声の調整の科学 ・声の衛生 ・歌唱における特殊発声	榊原健一
8 9	声と身体 (1)	ウォーミングアップとセルフケア 歌唱実践 (1)	天明屋優佳
10 11	声と身体 (2)	ウォーミングアップとセルフケア 歌唱実践 (2)	天明屋優佳
12 13	声と身体 (3)	ウォーミングアップとセルフケア 歌唱実践 (3)	天明屋優佳
14 15	合唱曲 (1)	・ウォーミングアップ ・ハーモニーの理解と演習 ・グループ演習と全体演習	近藤里美
16 22	合唱曲 (2)	・ウォーミングアップ ・ハーモニーの理解と演習 ・グループ演習と全体演習	近藤里美
23 29	合唱曲 (3)	・ウォーミングアップ ・ハーモニーの理解と演習 ・パート演習と全体演習	近藤里美
30	まとめ	・合唱に必要な知識と技能の整理	近藤里美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

平常点50%、授業内に実施する課題達成確認テスト50%

**【教科書】**

特に指定しない。必要な資料は講義またはLMS (manaba)で提示する。

**【参考書】**

ヨハン・スンドベリ 「歌声の科学」 東京大学出版局 2007年

**【備考】**

・学習形態は講義、グループ演習、全体演習を適宜配分する。

**【学修の準備】**

- ・あらかじめ配布された資料・楽譜をもとに、十分な事前学修・練習を行うこと。
- ・毎回の授業後には、各自の課題点を整理し、十分に復習すること。
- ・事前学修・事後学修に各々80分を費やすこと。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

(DP3) 作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

**【実務経験】**

近藤里美（音楽療法士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関および介護保険施設での実務経験を活かし、音楽療法に必要な合唱の技能演習を行う。